

北朝鮮の地下核実験に抗議する決議

核兵器の廃絶は、最初の被爆国である日本をはじめ、今や全世界の人類共通の願いとなっている。

しかしながら、北朝鮮政府は、日朝平壤宣言において、北東アジア地域の平和と安定を維持、強化するため、互いに協力していくことを確認しているにもかかわらず、国連安全保障理事会による核実験中止を求める声明や国際世論を無視し、10月9日に地下核実験を実施した。

平和都市宣言を行った札幌市において、本市議会は、これまでも核保有国が地下核実験及び臨界前核実験を実施した際に抗議の決議を行ってきた。今回、北朝鮮政府が核兵器廃絶を求める国際世論に逆行し、核実験を強行したことについても、断じて容認することはできない。

よって、本市議会は、北朝鮮政府に対し、地下核実験の強行に強く抗議するとともに、核兵器廃絶と核実験中止を求める国際世論を真摯に受け止め、今後、いかなる核実験も恒久的に行わないよう強く求めるものである。

以上につき、決議する。

平成18年（2006年）10月26日

札幌市議会

（提出先）朝鮮民主主義人民共和国金正日国防委員長

（提出者）全議員